

Smart Times

SGグループの池田さんの呼びかけでスタートした。東京と新潟で開催しており、私は東京の会長を務めている。東京と新潟あわせて262人の会員組織となり、創業時のディー・エヌ・エー(DENA)の南場

「異業種交流会501」が、今年19年目を迎えた。この会は近代経済の父と呼ばれた渋沢栄一の精神と実績にあやかり「501社の企業を創生し、地域を活性化していきたい」というN

インターウォーズ社長

吉井 信隆



1979年リクルート(現リクルートホールディングス)入社。首都圏営業部長などを経て95年にインキュベーション事業のインターウォーズを設立、社長に就く。日本ニュービジネス協議会連合会副会長。

成長続ける企業に共通点

力強く成長し続けている企業には共通点がある。試行錯誤を繰り返して、事業の軸を変えて強力な基盤を持つ企業へ変貌している。DENAはパソコン向けのオークションサイト「ビッグターズ」を立ち上げた。その後、成長の主軸を携帯電話向けの「モバオク」や「モバゲー」にシフトして

自動車関連事業を展開し、傘下に横浜DENAベイスターズを持つ2千人を超え、デジタル技術は産業の構造を根本的に変え、勢いよくスタートしたベンチャー企業が多く、これまでの事業の延長では先が見えない。起業は様々なピンチに出合う。その後、変貌

環境が急激に変化する中で、パーパスはミレニアル世代組織の求心力だ。組織と社員のパーパスを融合させるマネジメントが、環境変化に柔軟に対応する戦略の実現を加速させている。さらに、革新を求める起業家経営者は人的資産を最大限に生かすことを経営の要点としている。そのため

誰よりも社員を深く理解し、誰に新たな事業を起こす仕事を任せ、どのレベルまで要求するかを判断する。社員の力を精いっぱい引き出すことに時間とエネルギーと資金を費やしている。経営者の直下で事業を立ち上げる機会を得た社員は、事業の実現に熱狂する。人は生き方が定まったとき、圧倒的な力を発揮する。

私はインキュベーション会社の経営者として多くの起業家に関わってきた。ベンチャーから変貌して成長を続けている起業家経営者が率いる企業には社員のアイデアを生かす「次世代を担うビジネス」に磨き上げる構えがある。

企業成長の源は、一つの時代の人的資産を最大限に生かす企業に宿る。